

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 1448 号	氏名	周 哲暘
学 位 審 査 委 員		主 査	黒田 直敬
		副 査	尾野村 治
		副 査	田中 正一
		副 査	真木 俊英
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価</p> <p>本研究は、科学研究における重要課題である定性・定量を行うための新しい蛍光分子構造の構築とその機能解明を目指したもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価</p> <p>これまでに多数の報告例がある蛍光分子を基本骨格として採用し、骨格上の置換基の構造変換により新しい分子を構築した。そして、既知分子構造との蛍光特性・化学計算に基づく比較を行い、新しい分子構造に由来する機能の特性を明確にしており、研究手法も妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価</p> <p>上記手法で解析した結果、申請者の標榜するテトラド分子構造により ON/OFF 型の蛍光センサーから蛍光シフト型の蛍光センサーを構築する基本戦略が提示されており、今後の蛍光センサー・蛍光プローブ研究への進展が大いに期待される。</p> <p>以上のように本論文は薬品構造解析学研究に貢献するところが大であり、審査委員は全員一致で博士（薬科学）の学位に値するものと判断した。</p>			